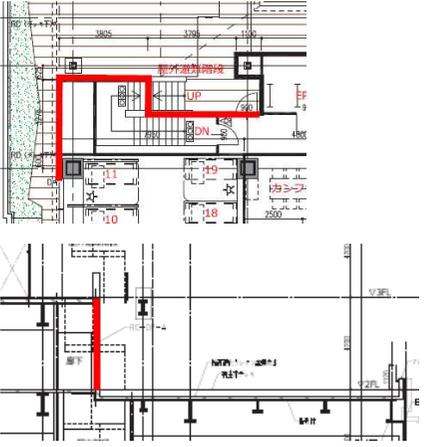
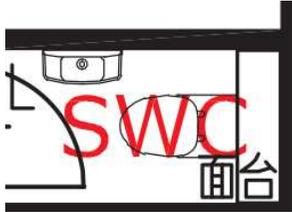


技術提案書及びVE提案書等に関する質問（建築）

No.	区分		質問内容	回答
1	共-3	新棟建設工事	特記仕様書1.8.5 その他共事項（建築工事）-2に記載の『金属部分で結露の発生が想定される箇所に結露防止材を塗布する』について、グライト吹付 t5と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
2	A-007	新棟建設工事	外壁のフッ素樹脂塗装、フッ素樹脂特殊塗装(木調)はDP-Aのことと解釈して宜しいでしょうか。	フッ素樹脂塗装はDP-Aで宜しいですが、フッ素樹脂特殊塗装・フッ素樹脂特殊塗装（木調）はA-007図の18.13.1を参照ください。
3	A-010	新棟建設工事	共通事項-016に、幅が400mmを超える横樋は、メンテナンスのために人が樋内を歩行できる仕様とするとありますが該当無しと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
4	A-033	新棟建設工事	矩計図2にて、AM通のバルコニーの床仕上が防塵塗装になっていますが、平面図及び平面詳細図ではタイルの様な記載になっています。バルコニーについては植栽部のみモルタル仕上、その他はタイル仕上と考えて宜しいでしょうか。	3～5Fバルコニーの鑑賞庭・AM通りの東西通路・避難バルコニーは植栽帯下も含め、全面タイル仕上げで見込んでください。（2Fは植栽部下はデッキ有り） 但し側溝部分はタイル貼り不要です。
5	A-039	新棟建設工事	アルミの表面仕上と思われる下記の記号について、仕様を御指示下さい。 ・A ・AC	A-039図D1-1・1-2のACはアルミ電解着色処理（A-073図参照）としてください。 D1-8のAはアルミ酸化被膜処理（A-073図参照）としてください。
6	A-063	新棟建設工事	西面3-5FバルコニーのA1通の階段に面するL=2500の部分はRC手摺とし、仕上は立面図凡例eと考えて宜しいでしょうか。	A-038図を参照し、A-040図D2-3の外部手摺A（Ta）としてください。
7	A-058	新棟建設工事	リフレッシュテラスのベンチ（W3250×D600/1100 台形）の仕様が不明です。鉄骨下地、ウッドデッキベンチと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
8	A-033	新棟建設工事	矩計図2-EにてA4通の腰壁高さが1FL+600になっていますが、明確な範囲と意図が不明です。全て1FL+200と考えて宜しいでしょうか。	既存病院との間のスペースが対象で、集中豪雨対策としてRC腰壁の高さを上げています。1FL+600としてください。範囲は既設と新棟の間にできる隙間部分です。A059, A060の1F平面詳細図に記載があります。

9	A-033 A-060	新棟建設工事	<p>2Fの外壁種別について、添付の赤線部分はRC壁とし、仕上はe:コンクリート打放補修+フッ素樹脂塗装と考えて宜しいでしょうか。</p> 	<p>宜しいです。 構造図も同様としてください。</p>
10	A-032	新棟建設工事	<p>矩計図にて、バルコニーの軒天～サッシ取合部に設備換気用スリットの記載がありますが、詳細及び明確な範囲が不明です。御指示下さい。</p>	<p>スリット開口として隙間を空けるのみです。 2階～5階の東西面を対象に軒天ケイカル板のアルミ押え金物（指定色）を見込んでください。</p>
11	A-039	新棟建設工事	<p>外壁ECPのコーナー部について、特記仕様書ではコーナーパネル使用に適用の印がありますが、標準詳細図では斜め45度カットになっています。何れが正でしょうか。 また、コーナーパネルを使用する場合L=300+300と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>斜めカットを正としてください。 寸法は宜しいです。</p>
12	A-004 A-010	新棟建設工事	<p>縦樋の仕様について、各図で下記のように違いがあります。VP管を正と考えて宜しいでしょうか。 また、ピット内もVPで宜しいでしょうか。 ・共通事項-74…白ガス管、VU ・特記仕様書…VP</p>	<p>屋外範囲はA-071図を正とし、屋内範囲は白ガス管としてください。</p>

13	A-001 A-010	新棟建設工事	共通事項44. 設備・電気機械室及びシャフト内の耐火被覆は・・・と記載がありますが、特記仕様書1より、設備・電気機械室及びシャフト内は全面ケイ酸カルシウム板と考えるのでしょうか。	宜しいです。
14	A-032	新棟建設工事	耐火被覆について、外壁との複合耐火範囲は矩計図より、A1・A3通りの梁と考えるのでしょうか。また、柱は複合耐火無しと考えるのでしょうか。	宜しいです。 但し1・2階の東側外壁沿い含め、ECP壁と取り合う箇所は複合耐火で見込んでください。
15	A-011.049	新棟建設工事	1階防音シールド室(ABR検査室等)において、仕上表に壁・天井の仕上及び下地の記載がありますが、標準詳細図11の工事区分より壁・天井の仕上及び下地はシールド工事になると考えるのでしょうか。	一式が建築工事です。 専門メーカーとの工事区分は指定しません。
16	A-049	新棟建設工事	1階防音シールド室、防音室において、標準詳細図11の工事区分表に室内シンダーコンクリート及びモルタル工事及び基礎工事が建築本体工事とありますが、図示が見当たりません。該当無しと考えるのでしょうか。	基礎は不要としてください。 シンダーコンクリート及びモルタル工事については図示があります。専門メーカーとの工事区分は指定しません。
17	A-011.050	新棟建設工事	1階放射線防護室(X-TV室等)において、床仕上げが内部仕上表1は塗床1A・長尺シート4B、標準詳細図12はシンダーコンクリート+ビニル床シートとくい違います。標準詳細図12を正とし塗床1Aは不要と考えるのでしょうか。	宜しいです。
18	A-050	新棟建設工事	標準詳細図12<D-9>鉄骨梁部防護詳細図がありますが、該当範囲を御指示下さい。	シールド対象室内の大梁・小梁等の壁貫通箇所が対象です。
19	A-011.050	新棟建設工事	2階撮影室において、内部仕上表1に床仕上げ塗床1B・合板捨張t15×2重とありますが、該当範囲及び納まりが不明です。適応無しと考えるのでしょうか。	2階撮影室(歯科)はA-050図を正とし、塗床1B・合板捨張t15×2重は不要としてください。

20	A-010	新棟建設工事	<p>トイレ等の手洗い器について、共通事項81. 洗面器(設備)記載のある箇所にライニングを設置することとありますが、添付のように、WC内等で平面詳細図に図示の無い洗面器には不要と考えて宜しいでしょうか。</p> 	宜しいです。
21	A-011.012	新棟建設工事	<p>天井岩綿吸音板について、A・Bは(PB下地)とありますが、仕上表天井欄で仕上が3A・3B(岩綿吸音A・B)で下地のPB欄に3の記載が無い箇所がありくい違います。仕上表の天井下地欄を正とし、PB下地有無の使い分けがあるものと考えて宜しいでしょうか。また、1階EVホール・準備・前室等天井仕上が岩綿吸音板で下地の記載が無い箇所がありますが、LGSと下地PBを見込むと考えて宜しいでしょうか。</p>	岩綿吸音板A・Bは全てLGS下地・捨貼PB有りとしてください。
22	A-010 A-042	新棟建設工事	<p>床見切りについて、共通事項ではステンレス 5×10HL、標準詳細図4[042&lt;D4-21&gt;]ではステンレス目地棒 5×12とくい違います。共通事項を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	宜しいです。
23	A-041	新棟建設工事	<p>標準詳細図のスチールパーティションにおいてガラスあり/無しのものがありますが使い分けが不明です。全てガラス無しと考えて宜しいでしょうか。</p>	スチールパーティションはA-080図のSpt-●及び姿図凡例を正とし、仕様はA-075図としてください。
24	A-044	新棟建設工事	<p>標準詳細図において洗面カウンターの鏡のサイズが品番:W360×H1100、図示サイズ: W300×H940程度でくい違います。品番サイズを正と考えて宜しいでしょうか。</p>	宜しいです。

25	共-9 A-045	新棟建設工事	仕切りカーテン・暗幕において工事区分表に別途工事の記載がありますが標準詳細図に仕切りカーテン・暗幕の品番の記載があります。建築工事と考えて宜しいでしょうか。	仕切りカーテン・暗幕は別途工事です。カーテンレールは本工事です。
26	A-068 A-070	新棟建設工事	1階受付・待合3において展開図に折り上げ天井の様な図示がありますが天井伏図ではありません。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。	質疑箇所は健診センターの受付を指しますが、天井伏図・展開図とも間接照明ボックス(LB)があります。
27	A-045	新棟建設工事	標準詳細図A-045<D7-7A>において間接照明幕板の仕上にPUBの記載がありますが凡例に記載が無く仕様が不明です。フッ素樹脂塗装と考えて宜しいでしょうか。	PUBはA-073図に記載があり、ポリウレタン樹脂焼付塗装です。
28	A-011.12	新棟建設工事	2～5階EVホール・廊下・ラウンジの巾木において仕上表に木製+EP、化粧合板の記載がありますが使い分け範囲が不明です。杉板壁下部は化粧合板、その他壁は木製+EPと考えて宜しいでしょうか。	化粧合板壁の巾木は化粧合板、杉板壁部は木巾木+CL (A-041図D3-8) としてください。
29	A-011	新棟建設工事	2～5階外待合の巾木において仕上表にビニール巾木、床材巻き上げの欄に化粧合板の記載がありますが使い分け範囲が不明です。全て木製+EPと考えて宜しいでしょうか。	外待合は1・2階のみです。仕上区分はA-070図展開図を参照ください。1階外待合の北側(アイセンターの北側)及び産婦人科の南側を木巾木、他は化粧合板としてください。
30	A-012	新棟建設工事	6階EVホール壁仕上において仕上表に塗装・左官の記載がありますが使い分け範囲が不明です。全てEPと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
31	A-011 A-070	新棟建設工事	1階EVホール・廊下、外待合において仕上表に腰壁:ナラの記載がありますが展開図に記載が無く、該当範囲が不明です。外待合展開図のA(AH通り)・C(AE通り)面のみと考えて宜しいでしょうか。	1階外待合の北側(アイセンターの北側)及び産婦人科の南側をナラ腰壁の範囲としてください。ナラ腰壁はA-046図D8-11 (B)としてください。
32	A-045	新棟建設工事	標準詳細図A-045<D7-7A>において間接照明蓋の詳細が不明です。スチールt=1.6+PUBと考えて宜しいでしょうか。また、PUBが不明です。フッ素樹脂塗装と考えて宜しいでしょうか。	間接照明蓋の指す対象が不明ですが、元図に「FB1.0+PUB」と記載のある箇所はスチールt=1.6潰し枠形状+PUBで宜しいです。PUBは質疑27を参照ください。なお、間接照明<D7-7B>の小口立上り板はSt-FBt6としてください。

33	A-010 A-034	新棟建設工事	床・外壁面断熱材において共通事項に特記を除き硬質ウレタンフォーム25吹付の記載がありますが、断熱範囲図では特記なき限り硬質ウレタンフォーム50吹付とあり、くい違います。断熱範囲図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
34	A-059	新棟建設工事	2階外待合において平面図にイスターカーテンの記載がありますがTOKO:スクエアスリムパイプと考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。 A-073図のD1-10及びA-080図のYS-M01となります。
35	A-039	新棟建設工事	標準詳細図A-039<D1-8>においてウレタン塗膜の記載がありますが構造図よりハト小屋内にスラブが見当たりません。該当無しと考えると宜しいでしょうか。	ハト小屋はスラブ有とし、標準詳細を正としてください。 構造図も倣い、スラブ有りとしてください。
36	A-069	新棟建設工事	4階研修室兼救護訓練スペース等において、天井伏図にロールスクリーンとブラインドボックス両方の図示がありますが、ロールスクリーンのみの取付と考えると宜しいでしょうか。	SB:スクリーンボックスはプロジェクタースクリーン用です。BB:ブラインドボックスです。 位置もズレており、用途が異なるため両方必要です。
37	A-066	新棟建設工事	間仕切において、壁種別図に遮音壁B(Sac)とありますが、仕様が不明です。御指示下さい。	SacはSawと読み替えてください。 A-041図の右上です。
38	A-044 A-068 E-225~232	新棟建設工事	標準詳細図6 D6-2洗面カウンターAにおいて、洗面カウンター上部に照明、折り上げ天井の記載がありますが、天井伏図、電気設備図に記載がありません。不要と考えると宜しいでしょうか。	必要です。 電気設備工事で見込んでください。
39	A-064	新棟建設工事	6階電気室において、床開口がありますが、開口のみと考えると宜しいでしょうか。	通常のEPSと同程度の床開口のため、電気設備工事で対応してください。
40	A-010	新棟建設工事	共通事項に記載の下記の該当範囲が不明です。今回工事では該当無しと考えると宜しいでしょうか。 ・共通事項27 ・共通事項31 ・共通事項38 ・共通事項39 ・共通事項40 ・その他特記事項8	・共通事項27:西側擁壁を対象とし、仕上げは撥水剤塗布(セパ割等) ・共通事項31:高耐食性メッキは不要 ・共通事項38:新棟2F空調機械室、6F電気室 ・共通事項39:対象なし ・共通事項40:対象なし ・その他特記事項8:対象なし

41	A-005 A-074	新棟建設工事	<p>アルミ製建具性能において、建具詳細図2が特記仕様書-5とく違いいます。建具詳細図に該当する建具の性能は建具詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>&lt;建具詳細図&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐風圧性・・・2559Pa</li> <li>・気密性・・・A-4</li> <li>・水密性・・・W-5</li> </ul> <p>&lt;特記仕様書&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐風圧性・・・S-5</li> <li>・気密性・・・A-3</li> <li>・水密性・・・W-4</li> </ul>	<p>宜しいです。</p> <p>特記仕様書の記載（16.2.2のB種）でなく、建具詳細図（性能高い方）を正としてください。</p>																				
42	A-076 A-079	新棟建設工事	<p>建具姿図、建具詳細図2にAW-N407の記載がありますが、建具キープラン、建具リストにありません。該当なしと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>建具姿図・建具詳細図2のAW-N407をAW-N307としてください。</p> <p>AW-N407はありません。</p>																				
43	A-076	新棟建設工事	<p>下記の建具サイズにおいて、建具リストが建具姿図とく違いいます。以下の様に考えて宜しいでしょうか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>建具リスト</th> <th>建具姿図</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AW-N108</td> <td>H3200</td> <td>H3185</td> <td>→H3200を正</td> </tr> <tr> <td>・AW-N109</td> <td>H3200</td> <td>H3185</td> <td>→H3200を正</td> </tr> <tr> <td>・AW-N405</td> <td>W3600</td> <td>W2400</td> <td>→W3600を正</td> </tr> <tr> <td>・AW-N505</td> <td>W3600</td> <td>W2400</td> <td>→W3600を正</td> </tr> </tbody> </table>		建具リスト	建具姿図		・AW-N108	H3200	H3185	→H3200を正	・AW-N109	H3200	H3185	→H3200を正	・AW-N405	W3600	W2400	→W3600を正	・AW-N505	W3600	W2400	→W3600を正	<p>AW-M108、N109：H3185を正。</p> <p>AW-N405：W3600を正。</p> <p>AW-N505：W3600を正。</p>
	建具リスト	建具姿図																						
・AW-N108	H3200	H3185	→H3200を正																					
・AW-N109	H3200	H3185	→H3200を正																					
・AW-N405	W3600	W2400	→W3600を正																					
・AW-N505	W3600	W2400	→W3600を正																					
44	A-079	新棟建設工事	<p>AG-N02～04のサイズが不明です。御指示下さい。</p>	<p>以下としてください。</p> <p>AG-N02：W3700×H1150（開口率60%）</p> <p>AG-N03：W1200×H2250</p> <p>AG-N04：W2400×H1000</p>																				
45	A-077～79	新棟建設工事	<p>下記の建具の数量において、建具キープランが建具リストとく違いいます。建具キープランを正と考えて宜しいでしょうか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>建具キープラン</th> <th>建具リスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AG-N03</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>・LSD-N07</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>・LSD-N12</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		建具キープラン	建具リスト	・AG-N03	5	4	・LSD-N07	15	13	・LSD-N12	2	1	<p>宜しいです。</p> <p>AG-N03：6階分が0→1</p> <p>LSD-N07：1階分が8→10</p> <p>LSD-N12：1階分が1→2</p>								
	建具キープラン	建具リスト																						
・AG-N03	5	4																						
・LSD-N07	15	13																						
・LSD-N12	2	1																						

46	A-080	新棟建設工事	LSD-N03～05において、建具リストに排煙ペレーター UCとありますが、UCの凡例が不明です。アンダーカットと考えて宜しいでしょうか。	記載欄に相違があります。排煙ペレーター欄ではなく換気ガラリ欄が正です。UCはアンダーカットで宜しいです。N-076図の右上に凡例・仕様があります。
47	A-080	新棟建設工事	LSD-N04のガラスが不明です。フロント板ガラス t=5 (W80×H150)と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
48	A-080	新棟建設工事	LSD-N18の建具形式において、形式欄(建具リスト)に引-フラとありますが、ガラスの記載がありくい違います。ガラスは不要と考えると宜しいでしょうか。	「引-フラ」→「引-スリ」、フィルム貼に変更してください。
49	A-039～052	新棟建設工事	SW-N01の建具形式において、建具リストに標準詳細参照とありますが、標準詳細図に記載がありません。建具形式は片袖FIX+片引き窓と考えると宜しいでしょうか。	A-045図D7-1 (C) としてください。よって生理検査カウンターは同図 (A) から (C) に変更してください。
50	A-073 A-079	新棟建設工事	Sh-N01～02の座板・レール・マグサにおいて、建具リスト:指定色が建具特記・建具詳細図1:St SOPとくい違います。建具リストを正とし、焼付塗装 指定色と考えると宜しいでしょうか。	SOP指定色としてください。
51	A-045 A-079	新棟建設工事	SMA-N02～N05の高さにおいて、建具リスト:H600が標準詳細図:H500とくい違います。H600を正と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
52	A-073 A-080	新棟建設工事	YS-N01のサイズにおいて、建具リスト:W6600×H2700が建具特記・建具詳細図1:W6758×H2565とくい違います。W6600×H2700を正と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
53	A-058 A-080	新棟建設工事	SPt-N01のWサイズにおいて、平面詳細図1:W9700が建具リスト:W10700とくい違います。W9700を正と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
54	A-075 A-076 A-080	新棟建設工事	SPt-N01、SPt-N04～N15のガラス(FIX部)において、建具詳細図3:フロント10mmが建具リスト:T10、建具姿図:透明防音合わせガラス t5+5とくい違います。フロント10mmを正と考えると宜しいでしょうか。	強化ガラス (T10) としてください。
55	A-061 A-080	新棟建設工事	SPt-N09において、平面詳細図4に腰上ガラスとありますが、施工範囲が不明です。FIX部H1000～H2700(扉は除く)と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
56	A-050	新棟建設工事	標準詳細図12において、D-6 放射線防護引戸(自動)詳細図がありますが、該当建具が不明です。不要と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。

57	A-50 A-80	新棟建設工事	標準詳細図12にXW-1～3がありますが、建具リスト:XW-N01～N03とくい違います。XW-1～3を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 名称はXW-N01=XW-1、XW-N02=XW-2、XW-N03=XW-3
58	A-079	新棟建設工事	SLD-N01の建具形式において、建具リストに標準詳細参照とありますが、該当図面が不明です。御指示下さい。	SLD-N01 : A-075図の移動間仕切詳細図 SLD-N02～04 : A-041図のSLW (スライディングウォール) 詳細図となります。
59	A-075 A-079	新棟建設工事	上記質疑が宜しい場合、表面仕上が建具リスト:DF、BA-Eが建具詳細図3:焼付塗装とくい違います。DF、BA-Eを正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
60	A-079	新棟建設工事	建具詳細図3(移動間仕切詳細図)にパネルストップ-表面仕上(内装工事)とありますが、仕上が不明です。SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
61	A-005	新棟建設工事	建築工事特記仕様書5(鋼製建具)に下記の項目の記載がありますが、該当建具が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。 ・簡易気密型ドアセットの等級 ・防音ドア、防音サッシの等級 ・断熱ドア、断熱サッシの等級	宜しいです。
62	A-010 A-073	新棟建設工事	外壁～外部建具枠廻りの充填材において、建具特記・建具詳細図:ロックウール充填が共通事項・凡例等:硬質ウール吹付充填(t=25)とくい違います。ロックウール充填を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
63	A-006	新棟建設工事	建具特記仕様書6にカーテンウォール工事(●印)がありますが、建具表に記載がありません。該当なしと考えて宜しいでしょうか。	既存取合部に既存カーテンウォールがあるので●としていました。新設の建具カーテンウォールは該当有りません。
64	A-033 A-102	新棟建設工事	ピロティにおいて、矩計図2では車道用インターロッキングの記載がありますが、外構計画図では、アスファルト舗装が同範囲にあり、相違します。外構計画図を正と考えて宜しいでしょうか。	アスファルトを正とします。 カラーアスファルトとしてください。
65	A-081 A-085	新棟建設工事	マルチングにおいて、植栽計画図ではt30、詳細ではt60と相違します。植栽計画図を正と考えて宜しいでしょうか。	植栽計画図の t 30を正としてください。
66	A-081 A-085	新棟建設工事	2F植栽計画図において、ワイヤ緑化の記載がありますが、適用範囲が不明です。AB～AD通り間に適用と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 最寄りの柵に接続してください。

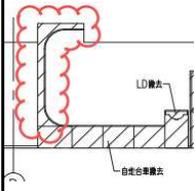
67	A-102	新棟建設工事	外構計画図において、建物東側の碎石舗装とインターロッキング舗装の計画レベルが不明です。現況レベルと同程度と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
68	A-103	新棟建設工事	管渠工において、車両通過部分はコンクリート巻きとありますが、適用範囲が不明です。適用無しと考えて宜しいでしょうか。	通り芯AA～AB間のVP管をコンクリート巻きとします。
69	A-103	新棟建設工事	花壇壁工において、品番としてエツリリゲルの記載がありますが、段数毎の適用範囲が不明です。全て2段と考えて宜しいでしょうか。	リゲルの記述は削除とし、図示の通りRC花壇壁とします。 花壇壁工のコンクリート壁は高さGL+H800とし全体Hは1200とします。壁仕上げは打ち放し補修+撥水剤とします。
70	A-103	新棟建設工事	各柵、人孔において、H寸法と蓋の種別、耐荷重等の詳細が不明です。柵：H600 スチール製グレーチング蓋 車両通行部T-25(その他はT-2)、人孔H2500と考えて宜しいでしょうか。	柵はH800としてください。その他は宜しいです。
71	A-084	新棟建設工事	屋上緑化詳細図において、標準断面図の凡例に記載の段数と数量を正と考えて宜しいでしょうか。	凡例の数量を正としてください。
72	A-058	新棟建設工事	平面詳細図において、入口前に側溝の記載がありますが、詳細が不明です。U180 T-2と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 最寄りの柵に接続してください。
73	AK-019 AK-020 AK-023 AK-024	既設建物取 合い改修工 事	外待合床の撤去範囲について、撤去平面詳細図と復旧平面詳細図で既設のままの範囲がくい違います。撤去平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
74	AK-017 AK-048	既設建物取 合い改修工 事	ACW-104の一部新設において、既存ACW-104改修詳細図の姿図が外壁取合改修図の復旧 立面図(西面)とくい違います。既存ACW-104改修詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	AK-048を正としますが、AK-048図のFE通り間(中庭に面する部分) 1階は、AK-017図のECPタイル貼を正とします。
75	AK-020 A-045	既設改修工 事	復旧高層棟1階カンファレンス室において、復旧平面図で天井クリンボックスが破線表記になっていますが、建築工事で見込むと考えて宜しいでしょうか。見込む場合、仕様は標準詳細図7<D6-9>と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

76		既設改修工事	フローリング接着剤、PB、ケイカル板は全てアスベスト含有と考えて宜しいでしょうか。	調査報告書の通り、内装では既設下地ボードのケイカル板・PB板・FGボードの継ぎ目処理部のパテ、及びフローリング直貼部の接着剤、外装では吹付タイル仕上、配管ではジョイント部ガasketに含有が確認されましたので、調査箇所以外の同仕様の既存部に存在するものと想定してください。
77	AK-004	既設改修工事	特記仕様書4.7節に層間変位等によるきしみ音対策がありますが、軽鉄壁下地にPPテープ貼と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
78	AK-014	既設改修工事	撤去・復旧壁について、壁仕上7のケイカル板の厚みが不明です。T8と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
79	AK-015 AK-021	既設改修工事	天井岩綿吸音板について、撤去及び復旧共厚みが参考品番記載箇所ではt=9.0、仕上表天井仕上欄ではt=12とくい違います。現況の2階運動療法室以外はt=9.0を正と考えて宜しいでしょうか。	t12としてください。
80	AK-019 AK-020 AK-022 A-044	既設改修工事	SKライニングについて、撤去平面詳細図及び撤去展開図でライニング等の記載がない場合は不要と考えて宜しいでしょうか。	撤去平面詳細図を正とします。面台撤去の文字記載のない以下面台を追加とします。 ・AK-019図：7通り-L通りの解析室左上のL背面 ・AK-019図：泌尿器科処置室のSK背面 ・AK-023図眼科：眼科検査室1・処置室のL背面（計2箇所） ・AK-023図脳神経外科：診察室1のL背面
81	AK-019 AK-020 AK-022 A-044	既設改修工事	ライニング壁について撤去・復旧共標準詳細図のステンレス巾木は部屋仕上の巾木に読み替えるものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
82	AK-019 AK-020 AK-022 A-044	既設改修工事	ライニング撤去高層棟1階洗浄室等、陶器のつかない面台の高さは展開図等で記載が無い限りH=1,000程度と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
83	AK-019 AK-020 AK-022 A-044	既設改修工事	高層棟1階洗浄室SKライニング等復旧平面詳細図と標準詳細図でライニングの出幅がくい違う場合は復旧平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

84	AK-024 AK-045	既設改修工事	LSD-K128の数量において、既存改修 C工区 1F 復旧 平面詳細図:6ヶ所が建具リスト:7ヶ所とくい違います。6ヶ所を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
85	AK-045 AK-047	既設改修工事	SD-K103のWサイズにおいて、既存改修 建具姿図:W2600が既存改修 建具リスト1:W850とくい違います。W2600を正と考えて宜しいでしょうか。	リストのW850を正とします。WHで記載している姿図は型式を示し、WHはリストのサイズとします。
86	AK-045	既設改修工事	既存改修 建具リスト1(一般事項)にアルミサッシュ設備ダケ外接続用ファンBOXは、室内側断熱処理とし、ダケ外接続のない部分はBOX同材にて塞ぎ、室内側断熱材吹付とする。と記載がありますが、該当建具が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
87	AK-045 AK-046	既設改修工事	既存改修 建具リスト1(一般事項)にバックボートはケカル板t6.0 AEP、耐火バックボートはケカル板t35 AEPとする。と記載がありますが、該当建具が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
88	AK-014 A-042	既設改修工事	既設防振二重床の様子が不明です。A-042図D4-24、凡例Cと考えて宜しいでしょうか。	A-49図D-10の床とします。
89	AK-014 AK-019	既設改修工事	撤去高層棟1階聴力検査室等において、防音シールド内の撤去で見込む必要があるものを御指示下さい。	A-49図D-10の防音天井・壁・床とします。
90	AK-014 AK-019~021	既設改修工事	高層棟1階待合廊下(X2-8/YM-N通り)において、間仕切撤去に伴い、床・壁・天井の復旧が必要ですが、仕上表に記載がありません。外待合に倣い下記と考えて宜しいでしょうか。また、上部トップライトは改修不要と考えて宜しいでしょうか。 ・床・・・カーペットタイル ・巾木・・・木製 ・壁・・・ビニルクロス ・天井・・・岩綿吸音板+EP(天井伏図)	AK-014仕上表で、待合廊下の復旧仕上は、撤去側に記載のある待合廊下と同じとします。トップライトの改修はありませんが、6通り部分にSM-A新設しますので、梁型上部からトップライトまでの間に廊下を区切るS壁を新設し、トップライトの枠に取合い金物で取付るものとします。
91	AK-023 AK-025	既設改修工事	撤去1階眼科・耳鼻咽喉科中待合において、壁の撤去範囲が撤去平面詳細図で既設のままの範囲となっているところが、撤去展開図及び復旧展開図では仕上のみ撤去の範囲となっています。撤去平面詳細図を正とし、壁撤去より向かって左側は既設のままと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

92	AK-019~021	既設改修工事	既設1階外来受付5において、床撤去有無が撤去平面詳細図では室内全体該当、撤去床伏図では既設のままとくい違います。床は全撤去復旧、天井は天井伏図より部分撤去復旧と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
93	AK-019 AK-022	既設改修工事	1階外来受付5において、壁の撤去範囲が撤去詳細図平面図ではカウンター廻りのみで隣室の撤去時診察室6の壁には何も記載が無く既設のままの範囲ですが、撤去展開図及び復旧展開図では仕上のみ撤去の範囲となっています。撤去平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
94	AK-019	既設改修工事	既設低層棟1階X4-5/YI-J通り処置室において、WK及び仕様不明の四角形に撤去とありますが、復旧平面詳細図では同箇所同物があり新設等の記載がありません。撤去不要と考えて宜しいでしょうか。	処置室・光線治療室は改修範囲外ですので、室内のWK・L・棚は既存のままとします。
95	AK-021	既設改修工事	既設低層棟1階X6-7通り診察室7-11及び光線治療室において、カーテンレールが撤去天伏図に図示のみ記載があり、復旧天井伏図では無しとなっていますが、既設のまま範囲のため、撤去不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
96	AK-024	既設改修工事	復旧低層棟1階スタッフ通路・患者支援センター～患者支援センター事務室において、スロープ脇上り框の仕様が不明です。ステンレス t2.0 W=100と考えて宜しいでしょうか。	H=床段差高、W=25、t2.0曲げ加工HL仕上とします。
97	AK-023	既設改修工事	撤去低層棟1階精神科中待合において、外待合からの入口横に撤去物の記載がありますが、詳細が不明です。パーティション H=2000と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
98	AK-026 AK-029 A-043	既設改修工事	撤去高層棟1階化学療法室等において、撤去の作業台(WK)の高さが撤去展開図ではH=70、標準詳細図5<D5-14>ではH=850・940とくい違います。F工区の撤去展開図に記載があるものが全てH=700の為、F工区はSTEP-2範囲も含め全てH=700を正と考えて宜しいでしょうか。	標準詳細図5を正とします。他工区においても同様とします。
99	AK-012 AK-026 AK-028	既設改修工事	撤去高層棟1階化学療法室において、AD建具前の床が工事手順図STEP-1.2でどちらにも撤去の着色がされていませんが、撤去平面詳細図では撤去範囲となっておりくい違います。撤去平面詳細図を正とし、STEP-1で同範囲の床・壁・天井の撤去を見込むと考えて宜しいでしょうか。	撤去復旧床伏図の白抜きは、図示凡例通り、仕上のみを撤去復旧することを示します。よって撤去復旧を見込むことでよいです。

100	AK-012 AK-026 AK-028	既設改修工事	撤去高層棟1階化学療法室において、撤去及び復旧の床が工事手順図STEP-1.2.4の仮囲いで納まらない範囲がありますが、STEP-2で見込むと考えるて宜しいでしょうか。(天井は既設のままになっており、床のみ撤去復旧範囲となっています)。	STEP1で化学療法室は床・天井共に全撤去とします。
101	AK-015 AK-027 A-042	既設改修工事	高層棟1階風除室において、グレーチング下床仕上げが標準詳細図4<D4-28>では防水モルタル、仕上表備考欄では塗膜防水(WP)とくい違います。標準詳細図を正と考えるて宜しいでしょうか。	宜しいです。
102	AK-015 AK-027 A-042	既設改修工事	高層棟1階風除室天井において、ケイカル板に仕上の記載がありませんが、他室に倣いNADを見込むと考えるて宜しいでしょうか。また、復旧仕上表ではケイカル板、復旧天井伏図では岩綿吸音板とくい違います。仕上表を正と考えるて宜しいでしょうか。	ケイカル板NAD仕上とします。
103	AK-015 AK-028	既設改修工事	高層棟1階WCにおいて、天井が復旧仕上表ではVクロス、復旧天井伏図では岩綿吸音板とくい違います。仕上表を正と考えるて宜しいでしょうか。	宜しいです。
104	AK-015 AK-027	既設改修工事	高層棟1階操作室において、踏込部分及びスロープ部の上り框仕様が不明です。ステンレス t2.0 W=100と考えるて宜しいでしょうか。	H=床段差高、W=25、t2.0曲げ加工HL仕上とします。
105	AK-015 A-051 A-042	既設改修工事	高層棟1階血管撮影室において、巾木が仕上表では床材立上、標準詳細図13ではビニル巾木とくい違います。仕上表を正と考えるて宜しいでしょうか。	宜しいです。
106	AK-015 A-051 A-042	既設改修工事	高層棟1階血管撮影室において、壁の鉛範囲が復旧平面詳細図ではRC壁側に鉛の記載がありませんが、標準詳細図13では4周鉛とくい違います。復旧平面詳細図を正と考えるて宜しいでしょうか。	既設RC壁部は設備開口等の壁開口状況が不明なため、標準詳細図13を正とします。
107	AK-015 AK-028	既設改修工事	撤去高層棟1階風除室3・復旧スタッフ室天井において、仕上表でスタッフ室では既設のままとありますが、撤去天井伏図・復旧天井伏図では撤去復旧範囲となっております。風除室の天井は既設のまま残すものと考えて宜しいでしょうか。	天井伏図を正とし、撤去復旧(PB下地内部用岩綿吸音板t12貼)とします。
108	A-046	既設改修工事	高層棟1階血管撮影室のドレンパンについて、標準詳細図8<D8-1>に軒樋100角程度、堅樋φ60程度とありますが、落とし口の位置及び排水経路を御指示下さい。	血管撮影室南東角のP S内にある空調ドレン管に接続とします。

109	A-051 AK-045	既設改修工 事	<p>既存改修 E、F工区 1F 復旧 平面詳細図において、下記の建具が建具リストにありません。建具リストの建具を以下のように読替えて宜しいでしょうか。</p> <p>&lt;読替前&gt;            &lt;読替後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SD-K108            →    XHD-5</li> <li>・SW-K101            →    XW-4</li> <li>・SD-K107            →    XHD-3</li> <li>・SD-K105            →    XHD-6</li> <li>・SD-K106            →    XD-3</li> </ul>	宜しいです。
110	AK-015 AK-028	既設改修工 事	<p>撤去高層棟1階診察室1.2及び救急外来の一部と復旧診察室1~3及び中待合について、天井が撤去天井伏図で撤去範囲、仕上表及び復旧天井伏図では既設のままとくい違っています。全て撤去新設と考えて宜しいでしょうか。</p>	宜しいです。
111	AK-033	既設改修工 事	<p>2階カテ庫において、下記図示の詳細が不明です。御指示下さい。</p> 	<p>自走台車レールを室内に見える部分のみ撤去を示します。メーカーに確認したところ、自走台車システムは使用しておらず、メンテナンス契約も終了しているため、建設業者側で切断・解体して問題ないと確認がしてあります。</p>
112	AK-031	既設改修工 事	<p>2階事務室2・3において、上り框の仕様が不明です。ステンレス t2.0 W=100と考えて宜しいでしょうか。</p>	H=床段差高、W=25、t2.0曲げ加工HL仕上とします。
113	AK-035 AK-036	既設改修工 事	<p>復旧2階作業療法室前室において、室内側からAWK201窓が流し台KI背面壁でほぼ見えなくなるような図示となっていますが、窓額縁との納まりが不明です。また、バルコニー側から流し台KI背面壁が見掛ると思われませんが処理が不明です。流し台背面にも面材と同じパネルを見込んで宜しいでしょうか。</p>	<p>AW-K201とKIの間はHSとし、AWガラス背面側はケイカル版EP仕上（AW枠にアルミアングル固定）とします。HSのKI側の見えががり部分はHSに化粧ケイカル板t6貼仕上とします。</p>

114	AK-034	既設改修工事	撤去高層棟2階水治療室において、撤去平面詳細図でシャワーコーナー内にライニングと目皿のような記載がありますが撤去展開図等に記載が無く撤去物が不明です。御指示下さい。また、入口に溝のような記載がありますが、溝蓋撤去W=100・300+モルタル埋めを見込むと考えると宜しいでしょうか。	壁部はライニングではなく、CB積壁です。目皿のようなものは床排水溝です。排水溝は指摘の処理の上、床仕上とします。
115	AK-013 AK-016 AK-034～036	既設改修工事	撤去高層棟2階作業療法室・浴室及び復旧リハビリテーション・水治療コーナー浴室天井において、撤去天伏図では撤去範囲、撤去仕上表では既設のままとくい違います。撤去天伏図を正と考えると宜しいでしょうか。	壁撤去があるため、撤去天井伏図を正とします。また、壁仕上（タイル貼）も撤去し、復旧仕上はリハビリテーション室壁仕上に同じとします。
116	AK-035	既設改修工事	屋外運動療法施設について※別紙参照とありますが、図面が見当たりません。無しと考えると宜しいでしょうか。	A-084屋上緑化詳細図4を参照ください。
117	AK-035	既設改修工事	屋外運動療法施設のウッドデッキのステンレス手摺の高さが不明です。詳細も併せて御指示下さい。	支柱SUS-FB9×50@900アンカーボルト留めの上、SUSパイプ42φ手摺曲線加工H800を支柱に溶接留めとします。
118	AK-034 AK-035	既設改修工事	ウッドデッキベンチの高さはH=200と考えると宜しいでしょうか。	H=400と考えるとください。
119	AK-039	既存不適格 解消改修工事	ELV-8更新詳細図1の工事区分表に、昇降路内鉄骨及び乗場出入口廻りの耐火処理工事と記載がありますが、耐火処理方法が不明です。三方枠廻りモルタル詰めと考えると宜しいでしょうか。	当該ELVシャフトは堅穴防火区画ではないため、耐火処理は不要とします。
120	AK-039	既存不適格 解消改修工事	ELV-8更新詳細図1の工事区分表に、昇降路ガラス養生工事と記載がありますが、詳細が不明です。御指示下さい。	備考欄記入の通り、防災シートでシャフトガラス部を全面養生を行うこととします。
121	AK-046	既存不適格 解消改修工事	SS-101～404の改修において、建具リストに危害防止装置追加とありますが、塗装の塗替等は不要と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。

122	AK-046	既存不適合 解消改修工 事	SS-201～403のサイズ、建具形式において、建具リストに図示とありますが、該当図面が不明です。建具形式は電動軽量シャッターと考えて宜しいでしょうか。また、サイズを御指示下さい。	電動重量シャッター（特定防火設備）です。サイズ(W x H)は以下です。 SS-201:3050x2590、SS-202:3165x2490、SS-301:2105x2340、SS-302:2965x2340、SS-303:3180x2590、SS-304:2105x2340、SS-401:3100x2340、SS-402:3120x2340、SS-403:3040x2340 また、以下の電動防火SSにも危害防止装置を追加とします。 ・低層棟1階中庭2 東側にある説明コーナー2のシャッター SS-105:2320x2590、SS-106:3895x2590 ・高層棟1階ELVホール1潜り戸付シートシャッター SS-01:3640x2640
123	A-012	エネルギー棟機 器改修工 事	地下1階コージェネ室において、設備基礎1がリストではW6400×D3400、復旧平面詳細図ではW7100×D1300程度とくい違います。リストを正と考えて宜しいでしょうか。また、設備基礎1に配管ピットが被っている範囲については、配管ピット蓋は不要と考えて宜しいでしょうか。	W7100×H1300を正としてください。また蓋は不要とします。
124	A-012	エネルギー棟機 器改修工 事	地下1階コージェネ室において、撤去設備基礎Cの高さが不明です。H=300と考えて宜しいでしょうか。	H150と考えてください。

技術提案書及びVE提案書等に関する質問（電気）

No.	区分		質問内容	回答
1	共-3	共通事項	各室の衛生器具の電源の有無及び数量は機械設備図を参照し設けること。との記載がございますが、「現状のコンセント図等には反映されていない」と考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	基本的にコンセント図等に反映されていますが、建築・機械設備図を確認し、不足分があれば見込んでください。
2	共-4	共通事項	既設病院の外来診療部以外は24時間稼働のため工事に際しては既存病院の運営への影響を最小限に抑えるように努め、作業時間、資材搬出入動線、振動騒音工事の時間帯、病院利用者の安全対策などの施工計画を病院と協議した上で決定すること。との記載がございますが、既設病院改修工事の時は、工事関係者以外立ち入り禁止と考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	原則お見受けの通りですが、各工事エリアの状況については個別に調整させていただくことを考えています。
3	E-103	新棟建設工事	6 製造者名 納入する機器および製品は、原則として、表面に製造者名は表示しない。記載がございますが、照明器具等にメーカーのシールが貼ってあるものは外さなくても宜しいでしょうか。	照明器具等のシールについては外さなくて良いものとします。
4	E-202 既存図 E05	新棟建設工事	外構の高圧ケーブルのルートの手ドホールに撤去→新設の記載がございますが、参考既存図に高圧ケーブル以外のFEP管内に既設ケーブルがございますが、こちらのケーブルは再接続しないと考える宜しいでしょうか。又、ケーブルは配管内に残置と考える宜しいでしょうか。	高圧ケーブル用ハンドホールのFEP管は現在、空配管の状態です。ケーブルはありません。
5	E-223	新棟建設工事	図面E-223（注記）に「・主開閉器はトリップ警報付とし、漏電警報、SPD故障警報等と合わせて各盤毎に外部警報出力を行う。」とありますが、警報出力先の詳細がありません。今回工事範囲は盤の接点出しのみとして宜しいでしょうか。	警報出力先は中央監視設備（機械設備工事）に見込んでいます。

6	E-223	新棟建設工事	<p>図面E-223（注記）に「・テナント盤(N4L-3・N5L-5)は、二種耐熱盤のみ本工事とする。」とありますが、二種耐熱盤(N4L-3・N5L-5)の盤内容が記載無く、ブレーカー数等が不明です。</p> <p>他の盤同様にAC-GC回路の15回路分のブレーカー回路を見込んだ盤を計上すると考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>テナント盤(N4L-3・N5L-5)の一般回路はテナント工事(別途工事)です。法的に必要な非常用照明用に二種耐熱盤を見込んでください。</p>
7	E-226	新棟建設工事	<p>新棟の工事項目に照明制御設備がありますが、図面E-226の「注記 5) 既設棟守衛室にリモコンスイッチR30を設け照明操作できるものとする。」とあります。照明制御設備としてはリモコンスイッチおよび配線とし、既設照明制御盤の改修または照明制御盤の新設はないものと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>照明制御設備はリモコンスイッチ及び配線を見込んでください。既設に照明制御盤はありません。</p>
8	E-226	新棟建設工事	<p>図面E-226の「注記 6) 下記は、昼光センサーを見込み昼光制御可能とする。・・・・・・」とありますが、記載のエリアにて照度の設定および制御が可能であれば良いと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
9	EK-400 A-027	既設改修工事	<p>VE提案採用前概算工事費見積内訳</p> <p>既存不適格解消工事の工事項目に電灯設備、動力設備、拡声設備、監視カメラ設備、自動火災報知設備がごさいますが、EK-400図 2改修内容の1. 既設不適合エレベーター8号機更新に伴う工事とA-027図 特定天井改修範囲の各設備機器改修と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>特定天井改修範囲に関する工事です。</p> <p>EK-413(電灯)、425(非常灯)の注記、及び参考図E-175の放送・監視カメラ設備(スピーカは撤去・再取付、カメラは撤去のみ再取付不要)、参考図E-214の火災報知設備の撤去・再取付けを見込んでください。</p>
10	EK-400	既設改修工事	<p>3. その他注記</p> <p>電力ケーブルの切替えに際し、必要に応じて仮設、発電機・仮設切替盤、仮設ケーブルを見込む。記載がごさいますが、工事用の電源のみと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>病院運営用の電源も見込んでください。</p>
11	EK-400	既設改修工事	<p>特記仕様書内、既設改修図面に事前調査があり、負荷容量の記載がごさいます。</p> <p>今回の改修部以外の既設設備の調査も含まれる考えになりますでしょうか。</p> <p>(含まれる場合、既存棟(エネルギー棟含む)の延床面積 27,256㎡あり、詳細まで必要になりますと莫大な調査費用が発生します)</p>	<p>改修工事に必要な既設機器のみで構いません。</p>

12	改修共通	既設改修工事	エネルギーセンターの改修を含め、既設改修工事において、電源切り替え工事等が多数あります。改修工事履歴はありますか。	改修工事に必要な情報は配布資料の認識ですが、不足資料があれば施工業者特定後に提示可能な履歴はお示しします。
13	共通	エネルギー棟機器改修工事	既存の撤去受変電設備機器は全てPCBが含有していないものと考えて宜しいでしょうか。もしPCBが含有するものがあれば、対象となる機器をご指示願います。	PCBは含有していないとお考え下さい。
14	E-206 E-217	エネルギー棟機器改修工事	既設受変電設備の低圧切替の注記に幹線ケーブルの回路数が50回路以上の記載がございますが、E206図では、非常動力440V:11回路、非常動力210V:10回路、非常電灯:28回路の合計回路数が49回路となっております。残りの回路数、幹線ケーブルサイズ、ブレーカーサイズ記載の図面をご教示いただけませんか。	E-206図に記載の回路数を正としてください。
15	E-230	エネルギー棟機器改修工事	手元切替盤のブレーカー数は、E-206配電盤リスト1の非常動力変圧器盤(1)(2)、非常電灯変圧器盤のブレーカー数が必要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
16	E-232	エネルギー棟機器改修工事	動力分電盤BP-1、BP-2、BP-3に(撤去)の記載がありますので、二次側ケーブル等も撤去するものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

技術提案書及びVE提案書等に関する質問（機械）

No.	区分	質問内容	回答
1	M-402 M-407	緊急排水槽(北)PU配管(DP-3)の行き先が不明です、ご教授お願い致します。 各種配管サイズが不明です、ご教授お願い致します。	M-417のDP-1からの排水先汚水枳(B-7)に接続してください。 配管サイズは、M-108の選定基準により適宜選定してください。
2	共通	各種配管サイズが不明です、ご教授お願い致します。	M-108の選定基準により、適宜選定してください。
3	M-130 M-112	特記仕様書-3(M-103)に特殊排水と有ります、M-112の判例に医療排水管(M)と有ります。読み替えてよろしいですか。	宜しいです。
4	M-103	特記仕様書-3(M-103)高温排水と有りますが、どの配管になりますか、ご教授お願い致します	高温排水管は対象外としてください。
5	共通	空調機器や外調機等に加湿がありますが、加湿配管がありません。図面等資料をご提示願います。	M-405を参照ください。以降、適宜想定ください。
6	M-220	煙道のサイズの表記がありません。想定すると考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

技術提案書及びVE提案書等に関する質問（その他）

No.	区分	質問内容	回答
1	実施要項 P23	第10 価格の評価方法の価格評価算定表(3)に【総工事費参考価格100%＜参考見積提案率】の場合、無効とする（失格）となっています。全社無効となった場合、どのような対応をお考えでしょうか。	<p>価格の評価にて全参加者が無効となった場合は全参加者が失格となり、その時点で本プロポーザルは「最優秀提案者の該当者なし」ということで終了となります。</p> <p>VE提案採用後概算工事費が総工事費参考価格を超過しないことが必須となります。実施要項P15「2 技術提案書、VE提案書及びVE提案採用前概算工事費見積書の作成」P19「4 VE提案書作成の条件」に従って、十分なVE提案採用金額が見込めるだけのVE提案書を提出してください。また、提出されたVE提案が必ずしも全て採用となるわけではないことも考慮した上でVE提案書を作成・提出してください。</p> <p>実施要項P19に記載の通り、総合的な観点から、大きな効果が得られると認められる柔軟なVE提案を多数求めます。</p>
2	基本協定書	材料等、工事請負契約以前に先行して発注しなければ間に合わないものを発注して、工事請負契約の至らなかった場合、発注者合意の上、先行発注分について費用を負担していただけるのでしょうか。	原則、基本協定書（案）第8条2項に記載の通り、技術協力業務の委託契約に基づく委託費を除き、本協定の履行に関し既に支出した費用（工事請負契約以前に支出した費用）については施工予定者の負担となります。